

～ 峰山高校 1年生が選んだ ～ 「2009（平成21）年の10大ニュース」は？

1年生全員が「現代社会」の授業の中で、今年の10大ニュースの決定に取り組んだ。選定（集計）方式としては、各生徒が第1位にランキングしたニュースを5点、第2位を4点…、第5位を1点といったやり方で、1年生全体のものを集計して順位を選定した。

第1位「新型インフルエンザ」 656点

この春に突如として始まった新型インフルエンザ騒ぎ、想像を超えるスピードで感染が世界中に拡大していった。峰山高校もまるで大きな波に飲み込まれるように感染者が相次ぎ、前代未聞となる学級閉鎖に多くのクラスがなりました。このニュースは、6クラス中で5クラスも圧倒的な得点でトップを占め、文句なしに今年度の第1位になりました。

第2位「政権交代」 486点

アメリカ大統領選挙でのオバマ氏の当選というチェンジに続いて、日本も政権交代によって日本の将来そして自らの生活も明るくなるのではないかと、多くの人が期待していた。しかし、時が経つにつれて、変化への期待とともにある種の不安も感じ始めています。今は高校生であっても、政権交代といった歴史的な出来事のお祭り騒ぎの次の場面を冷静に注視しているのではないのでしょうか。

第3位「芸能人の薬物汚染」 307点

一世を風靡したアイドル的な芸能人が、覚醒剤やMDMAといった合成麻薬の使用などで相次いで逮捕された。高校生にとってもテレビを通しての身近な存在であっただけに、薬物汚染の広がりへの驚きとともに、過熱した報道によっていやがうえにも関心が高まったようである。

第4位「マイケル＝ジャクソンの急死」 228点

今の高校生にとっては、彼が最も活躍していた頃の姿を直接は見ていないかも知れません。でも、彼が史上最も成功したエンターテイナー・King of Pop として音楽の世界に与えた影響の大きさとともに、彼の数奇な生き方と謎の多い急死といった彼の？な部分への関心もかなり高かったようです。

第5位「市橋容疑者の逮捕」 125点

2年半に及んだ整形手術を繰り返しながらの各地を転々とした逃亡生活や、逮捕後の取り調べで絶食や黙秘を続けるなどの様子が明らかにされるにつれて、驚きを新たにしていた生徒も多かった。ワイドショー的な報道により、殺人事件そのものの背景や動機よりも、容疑者の逃亡中や逮捕後の様子に人々の関心が集まったのは残念ですが…

以下、第6位から第10位まで…

順位	ニュース内容	得点
第6位	皆既日食	122
第7位	円高と不況	74
第8位	WBC日本連覇	65
第9位	石川遼君の活躍	56
第10位	EXILE関連の話題（14人になった・天皇陛下の前で歌ったなど）	54
次点	環境問題（ICP・イト・ICカー減税など）	50

～ まとめとして「今どきの高校生は…」と言うけど… ～

昨年度は、ほぼ全てのクラスで1位を占めた「北京オリンピック」を除けば、「アメリカ大統領選挙でのオバマ氏の当選」や「福田首相の辞任と麻生首相の登場」に代表される「変」にかかわるニュースが多かった。

これに対して今年度は、2つの特徴を見ることができる。1つ目は、今年の漢字「新」にかかわる良い意味・悪い意味でも「新しい動き」に関するニュースが多いこと。2つ目は、高校生も混迷を深める社会状況の中にあっても「WBC日本連覇」や「石川遼君の活躍」に代表されるような将来に向けての明るい展望や夢のあるニュースを求める傾向が続いていること。

しかしながら、若者の政治や社会問題への無関心が叫ばれる中で、今年の重要問題がそれなりにしっかりとランクインしたことから、「今どきの高校生も、まんざら捨てたものじゃない…。」とは言えないのでしょうか…。

～ おまけとして … 峰山高校 1年生が選んだ ～ 「2009（平成21）年の色」とは？

第1位「灰」 第2位「黒」 第3位「白」 第4位「紫」 第5位「紺」

2009年（平成21年）を色でたとえると何色か？という質問の第1位は、昨年度に引き続いて「灰色」であった。政権交代後の混迷する政治情勢、円高の進行により出口の見えない経済情勢といった先行きが不透明であるというイメージから「灰色」にたとえた生徒が最も多かった。第2位の「黒色」は、今年も殺人事件や薬物使用による芸能人の逮捕などが相次いだことから選んだ生徒が多かった。第3位の「白色」は、政権交代の始まりといった期待や悲しいことに話題となった薬物の色から選んだようである。

なぜ、その色にたとえたかという理由には、上記以外にも高校生・若者らしい様々なものがたくさんあった。いずれにしても、大人の画一的な色に対するイメージと違って、高校生の色に対するイメージの豊かさや多様さをこのアンケートからも垣間見ることができた。